

銚子ジオパーク市民の会 ニュース

第140号

2026年9月9日発行

発行責任者 安藤 清

銚子ジオパーク市民の会

URL: <https://choshigeopark.com>

屏風ヶ浦(銚子市)



親子で夏の 自由研究ツアー

夏休みの
自由研究はこれで
バッチリ!!

毎年恒例となり
ました、子供たち
の夏休みの宿題・
自由研究作成の手
助けとなる大人気
イベント「親子で
夏の自由研究ツア
ー」が、七月十八日
から八月二日で銚
子ジオパークにて
開催されました。

主催は銚子ジオ
パーク推進協議会
です。このツアー
は、銚子ジオパー
クが日本ジオパー
クに認定された翌
年の2013年から
夏に開催されてい
るものです。今回
のツアーは下表の
7

講座あり、銚子の自然を題材
に、直接、実物を見て触れて、
夏の自由研究を進めていくも
ので、約160名の親子の皆
さんが参加されました。

今回のツアーにサポーター
として参加された市民の会の
ジオガイドの方々に報告して
頂きました。

夏休み親子自由研究ツアーの講座について

実施日	講座名	講師
7月18日	貝殻標本を作ろう!	房州勝也氏
7月19日	ヤドカリの行動を探る!	菊池友則氏 (千葉大学)
7月20日	目指せ! 化石博士!!	銚子ジオパーク推進協議会専門員
7月25日	きのご探検隊!	糟谷大河氏 (慶應義塾大学)
7月26日	銚子の風で発電! 地球にやさしいエ ネルギー	銚子地方気象台職員 東京電力リニューアブルパワー株職員
8月1日	銚子のマイクロプラスチックを調べ よう!	手束聡子氏 (千葉科学大学)
8月2日	はじめての石ころ観察! ミニツアー	銚子ジオパーク推進協議会専門員



貝殻標本を作ろう!

田中 豊

夏休み初日の七月十八日
(土)、今年度最初の自由研究
ツアーとして標記のツアー
が開催された。

講師は例年通り房州勝也氏
で、岩本専門員、房州、田中が
サポートした。

当日は九組二十二名が参加
し、長崎防災空地に集まり、九
時三十分からガイダンスの後、
長崎海岸に降り、貝殻探しを
開始。皆真剣に約一時間半、
様々の貝殻を採取。日差しが
強くかなり暑かったが、具合
の悪くなる人も無く午前の部
は無事終了。

午後はジオパーク芸術セン
ター実験室に移動し、銚子の
海で多種の貝が採れる理由や
貝の種類による餌の違いなど
の説明を受け、各自採取して
きた貝を図鑑と照らし合わせ
ながら標本作成にチャレンジ
した。似たようなものが多く特定に

かなり苦戦していたが講師の
助けを受けながらなんとか特
定にこぎつけた。

最後に房州講師の子息作成の
標本を見ながら、標本の作成
方法を教わり、後の作業は夏
休みの宿題として各自が家で
完成させることにした。

今年度の受講者も熱心に最
後まで根気強く作業していた
のが印象的であった。子供た
ちの標本が無事完成すること
を願っている。

ヤドカリの 行動を探る!

小玉 健次郎

7月19日(日)、講師に千

葉大学菊池友則先生を迎え、
標記の自由研究ツアーが開催
された。参加者は銚子市・神栖
市・稲敷市・香取市からの9
家族(子供10名・保護者11
名)、協議会事務局から上田脩
郎専門員、市民の会からは安
藤清・小玉健次郎が参加した。



採取したヤドカリ

午前中は炎天下のなか長崎鼻
海岸でヤドカリ採集をし、事
務局から渡された名前入りの
ポリバケツに収穫した生き物
を入れ事務局に預けるとこま
で行った。昼食後、ジオ
パーク芸術センター実
験室で、まず菊池先生
から、ヤドカリの習性
について、体の成長と共に大
きな貝殻を探し、別の貝殻に
引っ越すこと、大きな貝
殻に先住しているヤドカリに
自分の貝殻をぶつけて追い出
し、引越するという話を聞き、実
際にそんなことが起こるのか
を実験し観察した。取ってきた
ヤドカリを万力で壊して裸に
し、空の貝殻に引っ越す